



いわて × 雲南省

さらなる交流へ



岩手県雲南事務所所長

李楠さん

私は雲南省出身で、平成26年4月から2年間、県庁に国際交流員として勤務し、中国との交流事業の支援や中国の魅力発信などを行いました。岩手についても多くを学び、特に印象深いのは、豊かな自然と美味しい食べ物、そして県民の皆さんの温かな心です。新事務所では岩手と雲南省の架け橋として、交流の輪をさらに広げられるよう頑張りたいと思います。

県教育委員会学校教育課

米慎司 首席指導主事



昨年、県内の高校生12名を引率して、雲南省を訪問しました。生徒は、現地で、互いの文化を披露し合ったり、授業に参加したり、ホームステイをするなど、さまざまなことを体験。この交流は、それぞれ国の違いや良さを学び合い、互いを認め合う貴重な機会です。雲南省での経験を生かし、今後の成長に役立ててほしいと思います。

1 地方政府間交流

平成25年に締結した「友好交流協力協定」を皮切りに、経済や観光、農林業など多岐にわたって交流を深めていくために、知事や省長を筆頭に地方政府関係者の相互訪問を行っています。



さらに広がる! さらに深まる! 雲南プロジェクト

県では、平成28年に「雲南省交流推進ワーキンググループ」を設置。さまざまな部署が連携して多様な事業を展開する「雲南プロジェクト」に取り組んでいます。

5 農林業交流

平成29年度から雲南省産の薬用作物の試験栽培を岩手で開始したほか、県の研究員が雲南省の技術向上を支援。薬用植物や食用キノコ類を中心に、農林業分野で活発な交流が行われています。



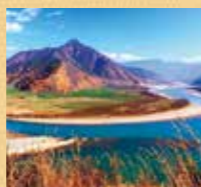
2 経済交流

中国での博覧会出展や岩手フェアの開催、岩手への雲南省バイヤーの招へいを予定。雲南省を足がかりとした南・東南アジア地域への展開を視野に入れ、県産品の輸出拡大を狙っています。



3 観光交流

平成30年に行われる南アジア博覧会で観光情報を発信するほか、中国側の旅行エージェントやマスコミに来県を働き掛け、岩手の魅力を体感してもらい、さらなる誘客を図っています。



4 青少年交流

平成27年から雲南省の中学生の受け入れと岩手の高校生の派遣を行っており、体験交流を通して両省県民との触れ合いを広げています。また、岩手大学と雲南省の大学連携も支援しています。



これまでの歩み

- ▶ 平成22年
 - ・岩手県・雲南省プーアル市・上海大可堂が共同で上海万博に出展
- ▶ 平成25年
 - ・雲南省と友好交流協力協定を締結
- ▶ 平成28年
 - ・雲南省と交流に関する覚書を締結
 - ・県庁内に「雲南省交流推進ワーキンググループ」を設置
- ▶ 平成30年
 - ・岩手県雲南事務所を開設

雲南省って どんどころ?

中国の最西南部に位置。面積は39.4万km²で人口は約4,771万人、25の少数民族が暮らす。複雑な地形から気候も多様で、豊富な自然資源に恵まれている。有名な特産品は、プーアル茶や高級巻きタバコ。三江併流、石林、澄江動物群、麗江古城、紅河ハニ梯田の、5つの世界遺産がある。

岩手県雲南事務所を開設、ビジネスの可能性を広げる

プーアル茶などの産地として知られる中国雲南省が、岩手と友好関係にあることをご存知ですか。平成22年の上海万博への共同出展をきっかけに、平成25年には友好交流協力協定を結び、以来、両省県の幹部が相互訪問するなど、交流を深めてきました。

雲南省は日本とほぼ同じ面積で、豊富な自然・観光資源に恵まれています。また、ラオスやベトナムなどに隣接し、南・東南アジアのゲートウェイとして位置づけられています。県では、アジアでの新たな展開

を視野に入れ、経済・観光・農林業を中心としたさまざまな分野での交流を活発に行っています。

平成28年には県庁内に「雲南省交流推進ワーキンググループ」を設置し、具体的な友好・交流・協力関係を構築する「雲南プロジェクト」をスタート。この4月には雲南事務所を開設し、交流に関わる相談対応や現地でのアテンドなど、細やかな支援を行っています。

今年度は、農林業分野でのさらなる研究技術の交流や、県産品の販路拡大、観光情報の発信を目的とした南アジア博覧会への出展などに取り組み予定です。